



のぞみ 希望

学校ホームページアドレス <https://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/sugita/>

学校
ホームページは
こちら



だれもが安心してすごすために、自分ができること

校長 藤崎 健児

先日、朝会で6年生の代表児童から「横浜子ども会議」の報告がありました。「横浜は子ども会議」とは、子ども主体のいじめ未然防止の取組として、「だれもが安心してすごすことができるよう、いじめの問題に向き合い、自ら解決しようとする子ども社会」をめざし、全市立学校の児童生徒が主体となって、話し合いと具体的な取組を行うものです。今年のテーマは「つなげる、広げる、いじめ防止の輪～いじめをなくすために、一人ひとりができることを考えよう～」です。



杉田小では計画委員会が中心になって「自分たちができること」を考えました。そして、「積極的に声をかける・友達を誘って、みんなで遊ぶ・相手の気持ちを考えて発言する」の3つだと考えました。この考えを浜中ブロックの中学校・小学校で共有をし、さらに区全体が集まり各中学校ブロックの考えを聞くことができました。

私は杉田小で考えた3つの「自分たちができること」が素晴らしいと思いました。杉田小の子どもたちにぜひ実践してほしいと思いました。実践が「だれもが安心してすごすことができる学校」につながるからです。6年生の報告のあと1年生にも伝わるようにひらがなで書いた紙を提示しました。

あいてが
うれしくなることを
しよう

あいてが
うれしくなることばを
かけよう

あいさつを しよう

「友達が」ではなく「相手が」にしました。話をしたことがない他のクラスの子、他の学年の子に対しても実践してほしいのです。そして、「できること」ですから「～しない」ではなく「～しよう」という表現にしました。相手の気持ちを考えて、進んで実践をしてほしいのです。給食をこぼしてしまったときに、すぐに拭いてくれたらうれしくなります。困っているときに「どうしたの？大丈夫？」と声をかけられると気持ちが軽くなります。「いっしょに外で鬼ごっこしようよ。」と言葉をかけられたらうれしくなるでしょう。そして、「あいさつ」。あいさつはお互いの存在を認め合う第一歩です。この実践により、人とのかかわりで生まれた「安心」が広がることを期待します。

子どもたちが毎日、学校に来ることを楽しみにし、安心して学習に取り組み、「ああ楽しかった。また、明日が楽しみ。」とつぶやく学校を、教職員一同で引き続き目指します。ご家庭、地域でのご協力も引き続き、よろしく願いいたします。